

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		公共建築課
	07	03	01	03	01	

政策
安全・安心で利用しやすい公共建築物の提供

政策の内容

市民が安全・安心して利用しやすい公共建築物の提供を進めるとともに、施設用途や目的に応じた適正な整備レベルの確保を図ります。
既存建築物の長寿命化、耐震化及びユニバーサルデザイン化を進め、適正な建物保全を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
-	-						

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

浜松市公共施設等総合管理計画及び浜松市公共建築物長寿命化指針に基づき、市が保有する公共建築物(一般施設)のうち、長寿命化すべき施設について計画的に改修を実施している。
改修内容を小規模改修と大規模改修とに定め、小規模改修では、外壁・屋根、受変電設備、空調熱源設備、給水ポンプ設備の改修更新し、大規模改修については劣化した機能性能を新築時レベルまで回復させるための改修及び更新を実施している。
大規模改修工事に併せて耐震化及びユニバーサルデザイン化を行い、効率的に改修工事を行っている。
大規模改修工事は、近隣施設や同用途の施設について閉館による市民サービスの低下を招かぬよう工事スケジュールの調整や、施工期間も施設運営を継続する場合の対応方法が課題となっている。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	2,972,841				
決算	2,969,793				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	16.5				
会計年度任用職員	4.1				
暫定再任用職員(31時間勤務)	0.0				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
公共建築物長寿 命化推進事業	1 公共建築物の長寿命化の推進 公共建築物長寿命化計画(一般施設)に基づき、市が保有する公共建築物(一般施設)の改修を計画的に実施することで、建築物の長寿命化を図るとともに、長期的な財政負担を軽減・平準化し、市民に安全・安心して利用しやすい公共建築物を提供する。	2,263,302
		2,547,079
公共建築物耐震 化推進事業	1 公共建築物の耐震化の推進 安全・安心な公共建築物を提供するため、耐震補強工事による一層の耐震性能向上や、不特定多数の市民が利用する大規模空間を持つ公共建築物の吊り天井などの非構造部材の落下防止対策を講じる。 なお、耐震補強工事については、長寿命化推進事業による大規模改修工事と併せて実施することで、効率的な事業推進を図る。	396,785
		376,271
公共建築物ユニ バーサルデザイ ン推進事業	1 公共建築物のユニバーサルデザインの推進 すべての人が快適に利用できる公共建築物を提供するため、「浜松市公共建築物ユニバーサルデザイン指針」等に基づき、ユニバーサルデザイン等に配慮した設計及び工事を実施し、公共建築物の適正な整備水準を確保する。 なお、長寿命化推進事業による大規模改修工事と併せて実施することで、効率的な事業推進を図る。	47,573
		43,823
公共建築デジタ ル運営経費	1 公共建築課のデジタル関連事業 営繕工事における業務効率化及び生産性向上のため、ICTを活用する。	2,650
		2,620

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
長寿命化件数 (外壁・屋根)(件)	小規模改修のうち、外 壁・屋根改修の単年度 実施件数	2025年度からの浜松市公共建 築物長寿命化計画(一般施設) に基づき、実施する小規模改修 (外壁・屋根改修)の件数は事 業推進に直結する。	目標値	-	14	14	14	14	14
			実績値	24	32				
			達成率	-	229%				
長寿命化件数 (設備)(件)	小規模改修のうち、設備 改修の単年度実施件数	2025年度からの浜松市公共建 築物長寿命化計画(一般施設) に基づき、実施する小規模改修 (設備改修)の件数は事業推進 に直結する。	目標値	-	9	9	8	9	9
			実績値	13	14				
			達成率	-	156%				
長寿命化件数 (大規模)(件)	大規模改修の単年度実 施件数	2025年度からの浜松市公共建 築物長寿命化計画(一般施設) に基づき、実施する大規模改修 の件数は事業推進に直結する。	目標値	-	4	4	5	4	4
			実績値	3	4				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
公共建築物長寿 命化事業(一般 施設)の進捗率 (外壁・屋根) (%)	長寿命化計画における 計画期間内の小規模改 修の内、外壁・屋根改修 の進捗率	2025年度からの浜松市公共建 築物長寿命化計画(一般施設) に基づき、実施する長寿命化事 業のうち、小規模改修(外壁・屋 根改修)の計画期間内目標に対 する進捗率	目標値	-	10%	20%	30%	40%	50%
			実績値	95%	23%				
			達成率	-	228%				
公共建築物長寿 命化事業(一般 施設)の進捗率 (設備)(%)	長寿命化計画における 計画期間内の小規模改 修の内、設備改修の進 捗率	2025年度からの浜松市公共建 築物長寿命化計画(一般施設) に基づき、実施する長寿命化事 業のうち、小規模改修(設備改 修)の計画期間内目標に対する 進捗率	目標値	-	10%	20%	30%	40%	50%
			実績値	92%	16%				
			達成率	-	160%				
公共建築物長寿 命化事業(一般 施設)の進捗率 (大規模)(%)	長寿命化計画における 計画期間内の大規模改 修進捗率	2025年度からの浜松市公共建 築物長寿命化計画(一般施設) に基づき、実施する長寿命化事 業のうち、大規模改修の計画期 間内目標に対する進捗率	目標値	-	10%	20%	30%	40%	50%
			実績値	68%	9%				
			達成率	-	90%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
公共建築物長寿命化事業 (一般施設)の進捗率(%)		2025年度からの浜松市公共 建築物長寿命化計画(一般 施設)に基づき、実施する長 寿命化事業全体の計画期 間内目標に対する進捗	実績値	-	18%					100%
			達成率	-	18%					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

公共施設の量・質の適正化・長寿命化及び民間活力の導入が進んでいる。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
公共建築物長寿命化推進事業	1 公共建築物の長寿命化の推進 公共建築物長寿命化計画(一般施設)に基づき、市が保有する公共建築物(一般施設)の小規模改修事業及び大規模改修事業を計画的に実施した。	引き続き公共建築物長寿命化計画(一般施設)に基づき計画的に工事を実施し、建築物の長寿命化を図るとともに、市民に安全・安心して利用しやすい公共建築物を提供する。
公共建築物耐震化推進事業	1 公共建築物の耐震化の推進 吊天井落下防止対策工事を実施した。(浜北文化センター、可美公園総合センター、みをつくし文化センター)	引き続き公共建築物耐震化推進事業を実施し、耐震化の推進を図る。
公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業	1 公共建築物のユニバーサルデザインの推進 「浜松市公共建築物ユニバーサルデザイン指針」等に基づき、ユニバーサルデザイン等に配慮した設計及び工事を実施し、長寿命化推進事業による大規模改修工事と併せて実施した。(勤労福祉センター、新津協働センター)	引き続きユニバーサルデザインに配慮した設計工事を実施し、公共建築物の適正な整備水準を確保する。
公共建築デジタル運営経費	1 公共建築課のデジタル関連事業 営繕工事における業務効率化及び生産性向上のためChromebookによる遠隔臨場、建築情報システムの活用によるデータ活用を実施した。	引続きICTの活用により業務効率化、生産性向上を推進する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

全ての事業活動(アクティビティ)について事業や指標の進捗はおおむね順調であった。引き続きすべての事業活動について、計画的に実施する。なお、活動指標である長寿命化件数(外壁・屋根)及び、長寿命化件数(設備)については、目標値を大きく上回っている。事業推進が進んでいる一方で、本工事は劣化調査により劣化の進行している施設の改修を実施することから、老朽化が進んでいる施設が想定よりも多いことが推察されるが、当面は長寿命化計画(一般施設)に基づき、小規模改修工事と大規模改修工事を計画的に実施し、計画の中間年である2030年(令和12年)には計画の見直しを検討する。
--